

成果の説明書

(氏名) 板垣 智洋	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>1.1 研究</p> <p>(1) 科研費(科学研究費助成事業(学術研究基金助成金))若手研究(B)課題番号 17K14175, 課題名「有限次元多元環のホッホシルトコホモロジーの BV-構造についての研究」(2017~2021 年度、研究代表者)について、ホッホシルトコホモロジーの計算結果の確認を行った。</p> <p>(2) 科研費(科学研究費助成事業(学術研究基金助成金))若手研究課題番号 21K13776, 課題名「多元環の箆構造とホッホシルトホモロジー次元」(2021~2024 年度、研究代表者)について、自己入射の中山多元環のホッホシルト拡大環のホッホシルトホモロジー次元が無限大であることを確認した。また、ホッホシルト拡大環のホッホシルトホモロジー次元を調べるため、quadratic monomial algebra のクラスの 2-cocycle を調査している。</p> <p>(3) 論文(*は Corresponding author) T. Itagaki, K. Sanada and S. Usui*, A Batalin-Vilkovisky structure on the complete cohomology ring of a Frobenius algebra, Journal of Algebra Volume 581, 2021, pp 226-277. (査読有)</p> <p>(4) 研究発表(*は登壇者)</p> <p>(i) T. Itagaki, K. Nakamoto*, T. Torii, Hochschild cohomology of Nm, 第 53 回環論及び表現論シンポジウム, 山口大学(オンライン開催), 2021 年 9 月.</p> <p>(ii) T. Itagaki*, 多元環の Hochschild 拡大環について(1), 空間の代数的・幾何的モデルとその周辺, Zoom によるオンライン開催, 2021 年 9 月.</p> <p>(iii) T. Itagaki*, 多元環の Hochschild 拡大環について(2), 空間の代数的・幾何的モデルとその周辺, Zoom によるオンライン開催, 2021 年 9 月.</p> <p>(iv) T. Itagaki, K. Nakamoto*, T. Torii, Hochschild cohomology of Nm, 日本数学会 2022 年度年会, 埼玉大学(対面開催は中止), 2022 年 3 月.</p> <p>1.2 教育 前期に「統計学 I」, 「データ分析入門」, 「経済数学特講」, 後期に「確率・統計入門」, 「データ分析入門」, 「基礎演習」, 通年で「演習 I」を担当した。学生からの質問に対して丁寧に回答するように努めた。また、「統計学 I」ではいくつかの内容について解説動画を編集した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>特になし</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>3.1 研究 上記 1.1 (2)の研究を継続して進めていきたい。</p> <p>3.2 教育 担当する各科目について、授業教材を改善し、対面授業に臨みたい。また、人工音声による解説動画も継続して、改良・作成していきたい。</p>	